

平成18年度見学会「北摂地域の地下水環境と地質」の報告

平成18年度日帰りの見学会を「北摂地域の地下水環境と地質」をテーマとして企画しました。大阪北部の北摂地域には、従来からヒ素含有地下水の問題が知られています。そこで、北摂山地のヒ素を含有する湧水と鉄バクテリア法による高速浄化处理、高槻市周辺の水源井、浄化处理や帯水層構造、サントリー山崎蒸留所などの見学を行いました。

主 催: 日本地質学会近畿支部・日本応用地質学会関西支部

協 賛: 関西地質調査業協会

月 日 : 平成18年11月24日(金)

集合場所・時間: JR 宝塚線 川西池田駅 改札前 午前9:00集合

見学地 : 北摂山地湧水（平野鉦泉とヒ素含有析出物の見学）、川西市の鉄バクテリア法ヒ素浄化处理施設の見学、高槻市水源井、有機塩素系浄化处理施設見学と高槻市低地部帯水層構造の紹介、サントリー山崎蒸留所の見学と試飲（大型バスを利用）

案 内 者: 殿界和夫(高槻市)・鍵本司(応用地学研究所)・高階義大(神戸大学)・三田村宗樹(大阪市立大学)

参 加 費: 3000円(学生1000円)（昼食代含む）

参加者数: 34名（内、学生4名）



見学風景（左：平野鉦泉の砒素含有析出物の見学，右：川西市掘削現場での地下水からの鉄バクテリア法での砒素除去プラントの見学，いずれも菅森義晃氏撮影）